

令和6年第7回定例会議

# 教育委員会会議録

令和6年9月26日

羽島郡二町教育委員会

## 令和6年第7回羽島郡二町教育委員会定例会会議録

※当議事録では、個人情報に関する記述の省略・不適切な表記の訂正などを行っている部分があります。

○日 時 令和6年9月26日（木曜日）午前10時55分から午前12時00分まで

○場 所 岐南町立東小学校 南舎3階東 集いの部屋

○会期の決定について

<日程第1> 前回の会議録の承認について

<日程第2> 教育長の報告

○議 題

<日程第3> 議案第29号 岐南町文化財保護審議会委員の委嘱について

<日程第4> 議案第30号 笠松町体育施設条例施行規則の一部を改正する規則について

<日程第5> 議案第31号 令和6年度羽島郡二町教育委員会 教育方針「方針と重点」  
(前期中間評価) について

<日程第6> 議案第32号 令和6年度使用小・中学校使用教科用図書の岐阜地区採択に  
ついて

○協 議 題

<日程第7> (1) 令和6年度第53回羽島郡二町教育委員会被表彰者について

(2) キッズウィークの運用について

(3) 水難事故防止に関わる新規事業について

(4) 羽島郡人権教育研修会について

(5) 郡地域学校協働活動研修会について

(6) 県外視察研修について

(7) 次回（第8回）教育委員会定例会について

【日 時】10月22日（火）10時00分

【場 所】岐南町役場 会議室2-2

(8) 令和6年第1回羽島郡二町教育委員会運営協議会について

【日 時】10月22日（火）13時30分

【場 所】岐南町役場 中央公民館・講義室

(9) その他

・次々回（第9回）教育委員会定例会 および 教育委員会表彰式  
の日程について

○出席者

教育長	野原弘康
教育委員（教育長職務代理者）	羽田野正史
教育委員	岩井弘榮
教育委員	久納万里子
教育委員	佐藤由香

○説明のために出席した者

総務課長	岩田由美
学校教育課長	宮川浩司
社会教育課長	藤枝豊和

1 本日の書記

総務課長	岩田由美
------	------

	(午前10時55分 開会)
教育長	<p>&lt;開会&gt; 只今より、令和6年第7回羽島郡二町教育委員会定例会を始めさせていただきます。</p>
教育長	<p>&lt;会期の決定について&gt; 初めに会期の決定についてお諮りします。議事日程により、会期については、本日1日とすることとしてよろしいでしょうか。</p>
教育長	<p><b>【異議なし】</b></p> <p>ありがとうございます。異議なしと認め、会期は1日とさせていただきます。</p>
教育長	<p>&lt;日程第1&gt; では、日程第1「前回の会議録」について、総務課長より報告をさせていただきます。</p>
総務課長	<p>前回の会議録の承認についてご報告いたします。 資料2頁をご覧ください。 令和6年第6回羽島郡二町教育委員会定例会議は、令和6年7月29日(月)午前8時45分より岐南町役場2階会議室2-2で開催されました。</p>

<p>教育長</p>	<p>その会議の概要をご報告いたします。</p> <p>議題としたしまして、 議案第28号 令和7年度使用小・中学校教科用図書採択について 学校教育課長が資料に基づき、令和7年度小中学校使用予定の教科書について説明し、承認していただきました。</p> <p>続きまして、協議題についてでございます。</p> <p>(1) 羽島郡学校保健会規約の一部改正について 学校教育課長が資料に基づき、規約改正の内容を説明し、承認していただきました。</p> <p>(2) 羽島郡地域学校協働活動研修会について 社会教育課長が「開催要項」により、趣旨や開催日時、場所の説明をいたしました。</p> <p>(3) 夏休みこども教室(岐南)・夏の親子教室(笠松)について 社会教育課長が、両町のリーフレットに基づき、地域の高校と連携して行う教室など幅広い教室が準備されていることを説明いたしました。</p> <p>(4) 岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会の開催について 総務課長が、各委員の参加と希望分科会の確認を行い、事務局へ報告する旨の説明をいたしました。</p> <p>(5) 県外視察研修について 総務課長が、研修日を10月1、2日の2日間から10月2日の日帰りに変更した説明と当日のスケジュール案について、説明をいたしました。</p> <p>(6) 次回(第7回)教育委員会定例会及び学校訪問の開催について 総務課長が、スケジュールについて説明を行い、令和6年9月26日(木)午前中に岐南町立東小学校で学校訪問及び給食の試食を兼ね、定例会を開催することを確認いたしました。</p> <p>(7) 次々回(第8回)教育委員会定例会及び第1回羽島郡二町教育委員会運営協議会の開催について 総務課長が、スケジュールについて説明を行い、令和6年10月22日(火)午前中に教育委員会定例会、午後第1回羽島郡二町教育委員会運営協議会を岐南町役場で開催することを確認いたしました。</p> <p>以上が、令和6年第6回教育委員会定例会議のご報告でございます。</p> <p>では、以上の会議録につきまして、何かご意見等よろしいでしょうか?</p> <p><b>【異議なし】</b></p>
------------	--

教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>【前回の会議録については承認】</p>
教育長	<p>&lt;日程第2&gt;教育長の報告</p> <p>私からご報告をさせていただきます。まず夏休みですが、大儀なく終えることができました。それぞれの宝物発表会はございましたけども、一人ひとりが成長できたと思っています。その中でラジオ体操の実態がわかりました。例えば、子供会が中心に行っているところもあれば、松枝校区は行っていないという実態があります。これはコミュニティの概念として行うのが一番やりやすいのではないかと思います。今後は子供会という1つの団体がすべてその中心となっていくのではなく、例えば自治会と子供会が連携しながら、複数の組織が連携する中で、地域コミュニティの活性化を1つの目的に置いて取り組んでいけるように町との連携を諮っていきたいと思います。</p> <p>2つ目は、前期の締めくくりの時期に来ています。新聞で運動会の練習中に熱中症の記事がありました。羽島郡では9月30日には岐南中学校のスポーツステーション、10月2日には東小学校の運動会。それから、10月1日には下羽栗小学校の鼓笛隊の披露などいろいろな発表があるので練習を行っているところですが、熱中症対策には十分気をつけてやっているといると思うので、いい締めくくりができると思います。それが終われば、後期のスタート、大きな節目を学校ごとに考えていると思いますが、それを充実させていただければありがたいと思います。</p> <p>3つ目、もうすぐキッズウィークに入ります。去年までの反省というか私が一番気にしているのは、25%から30%の保護者が休みが取れないとか、10%から15%の児童がキッズウィークでの満足感を味わえていない。つまり、児童クラブでの生活という実態でした。今年ではこ入れしたいと思っています。児童クラブで地域の方との関わりをもって、1週間のうちの1日2時間ぐらいになるかもしれないけれども、その子なりの体験ができる、そういう場を設けたいと思っています。いろいろな広がりがあり、笠松町については岐阜工業高校が関わっていただいていますし、今年は岐南町では岐阜女子高校が関わっていただいて、キッズウィークに向かっています。</p> <p>次に採用試験の結果です。岐阜県だけで言うと厳しい状況です。それから、各学校の職員の欠員状況ですが、現在、8名の欠員があつて4名埋めることができる。ただ、その補充にあたり課長や主幹が非常に苦労しておりまして、県費の人</p>

で少人数指導をやっていただいて、常勤講師の方に担任をやっていただくとか、県費の非常勤の方を常勤講師にしてもらって教科の授業を埋めるとか、県の施策として補充は常勤講師でないと駄目なのですが、教科がマッチしなくてその教科がマッチしない限りその人はいないのだけでも、非常勤の方ならOK。そういう方がいるのだけど、非常勤では駄目だ。そういう厳しい、今の時代に即した柔軟な対応してもらえるとありがたいなと思っていながら、そこは教育事務所と交渉しながら進めています。宮川課長も学校が少しでも楽になるようにということで、いろんな手だてを考えながらやっているのですけれども、そうした現状があって今でも4名がまだ決まっていない状況です。先ほど佐藤委員さんがおっしゃった「ゆとり」と言いますか、まずはその職員の数、当然その資質能力は関係するのですが、まずはしっかりと職員の数を埋めないと駄目だと思っています。我々も学校間の格差ということも考えながら、学校の実態を考えたときに人事配置に、努力はしているのですがなかなかうまくいかない現状です。例えば、先ほど東小学校のスタートプログラムの話がありましたけど、ここでやっているやり方で保育園との連携、北小学校とやけきの杜は非常に頑張ってやっていただいている、その辺のあたりはいいかなと思います。今、東小学校でやっていることを西小学校で実践していこうということで広げていますが、効果が出るまでは時間がかかります。

続いて、笠松町の給食センターですが、調理業務が委託になります。献立とか栄養、給食指導については栄養教諭が行いますが、調理業務については業者委託という方向で動いています。

それから、議会の一般質問に関わってですが、川島議員からはAIについての質問に対して、「AIは活用します。ただし、それに振り回されることなく、精査し、自分の体験に基づいた情報にできることを大事にしていけます」とお話をさせていただきました。伊神議員からは学力学習状況調査のことについて、また、岐南町では木下議員からは学校の健康診断について、プライベートへの配慮と、実際、正しい健診ができるのかということ。担当の先生によって難しさが若干見られましたが、今年は配慮して行っていただけました。

次に学習状況調査の説明をいたします。資料をご覧ください。

1つ目、平均正答率ならびに県平均との差の経年変化から、1番の表を見ていただくとおわかりになりますけれども、中学校の伸びが今回はよかったです。中学校で言うと、例えば3年前の小学校6年生から今の中学3年生での見方をすると、国語が3年前の小学校6年生で年平均が0であったのが、中学校で+3。そして、算数・数学で見ると+1であったのが+5という伸びを示しています。

郡全体です。経年で見ると平成30年のところは、国語が-2であったのが+3、数学では-2が+5というような形の変化を示しています。小学校については県平均と同等なのですが、中学校になると伸びる傾向があります。1つの大きな要因として、学習集団づくりが大きいと思っています。後ろの資料にQUの調査結果として、学級生活満足群というところを見ていただきますと、小学校の全国割合は43%に対して、羽島郡の6年生は65%であり、満足している値が高いことを示しています。中学校では全国平均が41%に対して、中学3年生が63%で同様なことが言えます。岐阜県の教育はどここの学校も集団づくりを大切にしているのですが、人的関係、居心地のよさ、そうしたものが資質・能力の育成に大きく影響していると思っています。

続いて、教科指導に関わっては、教師が一生懸命授業づくりに努め、どの学校も研究を行っています。これは学校質問紙と児童生徒質問紙があり、それを見比べると先生方の数字がかなり高いので、教師自身では努力しているという自覚を持っています。ただ、児童生徒側にするとそうではない部分があります。先ほどの校長先生の話の中でもありましたが、いじめが項目にあって、実際、我々教師が指導したというのは、話した、伝えたでおわっていないが、子供の心にどうせまり、子供はどう思い感じたか、その辺りのところまで見ていきたいと思えます。あと意識調査でいうと、例えば数学でいうと中学生の意識調査で、数学は好きですか嫌いですか、関心があるのかないのかという項目があり、中学校は県平均よりかなり低いのですが、学力の点数は高いです。それは、今の学習と生活の繋がりであるとか、或いは自分がこれと決めて学習していく、そういうことが大事になってくるのではないかと推測しています。あと小学校と中学校の差があり、小学校では全体の下から2番目、中学校は上から3番目という結果に対し、この差はどうして起きるのか。伊神議員の再質問にもありました。この結果から見ると、まず無回答率ですが、小学生はかなり多いです。諦めて書かないのですが、中学生の無回答率はほとんどない。その回答率が低いということは粘り強くやろうという気持ちがあるし、それなりの基礎的な力がついているから、その違いがでてきていると思っています。もう1つは授業の在り方です。教え方は大きく二通りあって、こうやってやるのだけど、やっごらん、できたねという指導と、どう回答になるのか自分たちで見つけていく指導です。見つけていく学習はこれからの将来に役立つ力になると思えます。ただ、低学年から高学年に移行していく中で、小学校のような問題解決的な学習に慣れていないというのがあると思えますし、それが積み重なっている中学校でいくと考える力となる。そういう下積みの授業になっていると思えます。ただ、間違えた問題を見ると漢字が書け

ないことから、基本的な内容の定着を図る、ドリル学習などを効率よく行う指導も必要となってくると思っています。

次に、ICT活用に関わっては、去年と比べるとものすごく伸びています。資料の7頁の(27) ICT機器をどのくらい使用しましたかとありますが、二町では小学校が79.2%、中学校が80.8%で、昨年のデータを確認したところ、小学校が42.7%、中学校が48.5%ということで実践はしているが、他の地域の方が使用頻度は多いということを示しています。机が狭いこともありますが私はいつも道具として置いておいて、ふっと思うことがあれば使えばよいと思います。今はおそらく、先生の指示を待っての動きになっていると思います。鉛筆や教科書やノートと同じぐらいの扱いになるようにしていく必要があるかと思っています。

続いて、家庭学習については、中学生は勉強をしているという自覚があることが見てとれます。ただし、小学生は誤答などから見るとドリル学習を取り入れ効率よく進めていく必要があると思います。次に、資料の3頁㊸「地域や社会をよくするために何かしてみたい」とかという意識調査ですが、この項目が小学生、中学生ともに非常に低いです。地域活動ボランティアをやってよかったという思いが持てることにより、そして次の原動力になると思います。先ほどの堀内校長先生から高学年の児童が高齢者施設に行き一緒に活動するとか、そういう繋がりとか良さを積極的に自分で味わえるような体験ができる場を設けたりしているとお話がありましたが、そうした活動を続ける必要があると思います。地域の活動に対して学校の先生のバックアップできる指導が後押しすることにもなり、場を離れたところの指導とかも必要になると思います。

それから、生徒指導等については、質問紙の「自分にはよいところがある」とか「将来の夢や希望をもっている」とか「学校に行くのは楽しい」などは、小学生の数値は低いです。中学生は小学生に比べれば若干高い数値となってきていますが、自己肯定感でよいところを先生方もいろいろと褒めていると思いますが、心からの褒めとなっているのだろうか、言葉だけで伝わっていないかどうか。或いは友達同士の認め合い、仲間での自分の存在。そうしたものがもっと大事になってくると思います。また、将来の夢や目標でも学びフェスタや松枝プロジェクト、クリ勉スペシャルなどを行っていますが、それが将来の社会につながっているということを見聞の意識に深い認識につなげていく必要があるとも思います。中学校では職場体験とかが進路と絡めてありますので、その数値は、小学生は低ですが、中学生は高いので効果はあるのではないかと思います。

最後に、学校の職員集団については、非常に同僚性を大事にした運営がなされ

	<p>ていると全体に感じています。</p> <p>また、教育委員会運営協議会でもお話させていただきます。</p>
岩井委員	<p>1ついいですか。郡内の学校の格差は広がっているのか、縮まっているのか。</p>
教育長	<p>中学校は同じで、小学校はそれぞれ特色があります。それを格差と見るのかどうか、何で見るか。先生方は各校の良さを引き出しながら、よくやられている。そこで満足するのではなく、自分に厳しさをもって授業を進めていきたいと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
教育委員	<p>はい。</p>
教育長	<p>&lt;議題について&gt;</p> <p>続いて、議題に入ります。</p> <p>議案29号 岐南町文化財保護審議会委員の委嘱について</p> <p>議案30号 笠松町体育施設条例施行規則の一部を改正する規則について</p> <p>併せて総務課長、説明をお願いします。</p>
総務課長	<p>議案第29号 岐南町文化財保護審議会委員の委嘱について</p> <p>3頁をご覧ください。任命につきましては、岐南町文化財保護条例第28条第2項により、委員は文化財の保存及び活用に関し学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱するとあります。任期満了に伴い、再任の方も含めてすべての方に改めて委嘱いたします。今回初めて委嘱させていただく方については、備考欄に「新規」と記載させていただきました。委員の任期は、令和8年3月31日までの2年間となります。第1回目の会議は、10月4日（金）に開催されます。</p> <p>議案第30号 笠松町体育施設条例施行規則の一部を改正する規則について</p> <p>ご説明いたします。6頁からをご覧ください。今回の改正理由は、笠松町体育施設であります「笠松町南体育館」の老朽化に伴い、廃止するため所要の改正を行うものでございます。改正内容といたしまして、「笠松町南体育館」の文言を条文や表の中から削除いたします。13ページから14ページにあります各施設区分での使用時間区分の表の「E」と「F」が「笠松町南体育館」となりますので、その部分も削除いたします。この規則につきましては、令和7年1月1日から施</p>

	行されます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。
教育長	説明がありましたが、まず、議案第29号 岐南町文化財保護審議会委員の委嘱については、質問等はよろしいでしょうか。
教育委員	はい。
教育長	では、次に、議案第30号 笠松町体育施設条例施行規則の一部を改正する規則については、どうでしょうか。よろしいでしょうか。
教育委員	はい。
教育長	では、2つの議案については承認していただきました。 次に、議案第31号 羽島二町教育委員会 教育方針「方針と重点」（前期中間評価）について、学校教育課長、説明をお願いします。
学校教育課長	<p>議案第31号 羽島二町教育委員会 教育方針「方針と重点」（前期中間評価）について</p> <p>15頁・16頁をご覧ください。今年度より新しい教育振興計画の計画第4期に入りましたので、昨年度比というのができないのですが、まず前期の方の評価です。今日、堀内校長から東小学校について出てましたが、それをまとめると資料のようになり、小学校の教員、児童生徒、中学校の中学校教員と児童生徒という形で評価があり、75%以上がAとなっておりますので、概ね良い評価が出ているようになっています。目標ごとで具体的に簡単に説明させていただきます。</p> <p>目標1「命を守る生命の尊厳を深く認識し、状況に応じたな判断のもと、健康・安全の保持増進に図る指導の育成」については、非常に良い評価が出ています。特に命を守る訓練については、児童生徒また教員ともに、非常に高い評価を得ています。いろいろ工夫をしながら、いろんな専門的なことを聞きながら進められていると考えております。一方で、3つ目の項目「望ましい生活習慣」ということで、中学校の教職員の方が心配していることということとして、睡眠時間が少ないのではないかということ。ネット等を含めた新しい環境に子供たちがなかなか慣れていないのかと言われたときに、学校生活中心であったりとか、軸足がずれてないかということ心配の声が幾つか挙がっておりました。</p>

目標2についてです。「自己と他者を思いやる心を持ち、つながりを大切にするとともに歩む豊かな人間性を育む」というところで、ここで気になるのが4つ目の項目「地域との繋がり」についてですが、これは経年費には載せてないのですが、コロナの時に断ち切られている中で、昨年度も同様の質問を行ったのですが、徐々に立ち上がってきている最中の数字で、決して児童生徒の60%自体が低いというものではなく、昨年度40%ぐらいだったのが少しずつ地域の行事に参加するといいいとか、それに子供たちが少しずつついてきている途中であると見えています。教職員の方は非常に働きかけのほうをしっかりとしているところですので、ぜひ、こうした地域とのつながりを押し戻していきたいと思っております。ただ、心配しているのは最初の項目「生き方指導」についてで、教員自身は生き方指導をしっかりと行っているつもりだけでも、子供たちがどこまでそれを実感しているかという部分で、昨日も学力向上委員会を行ったのですが、先生たちが頑張っているのと子供たちが感じているというところで、子供たちの声をしっかりと拾いながら指導していくといいのではないかとということで、改善案については提案させていただいております。

目標3「未来への夢を夢や願い、目標もち、達成に向けた過程の中で生まれる課題や問題に対し、自ら考え実践するなど、学び方を含めた学ぶ力を育成する」についてですが、項目5つあるうちの2つ目の「児童生徒が主体的・対話的な学び」で学びができていたかというところで、教師と生徒の差は少しあるのではないかと。先生たちも今日はしっかりとした授業をしたいのだけでも、でも一方で、主体的なことをやりたいので、ベテランの持つ不易の学習習慣づくりの部分と、今日は若者以下何人かがチャレンジしていた対話的な学びであったりとか、共有してくるといいのではと思っておりますし、そのよさを子供たちが味わえるように今働きかけております。

4つ目の目標「新しい時代につながる教育を推進し、学びのセーフティーネットの基礎・環境を整備する」についてですが、ICTのところでも今日見ていただいて、子供たちの方のICT化が進んでいるのですが、今度、働く先生たちのICT化というのが来年度、iPadに全部変わり、その次の年に校務支援システムがすべて変わることで子供たちのカルテみたいなのが出来て、小学校1年生から中学校3年生まで1つのものがデータ移行するなど、そういうのが運用される予定になっております。そのことも含めて、現在、先生たちがデジタルで知っていることとアナログで知っていることを融合されていくようになると思っておりますので、そのあたりを現在、中学校の先生が入り込めてない部分がありますので、しっかりと指導していきたいと思っております。そして、一番下の項目「かけはし

	<p>プラン」のところに関わってくるのですが、東小学校が一番力を入れて仲井教頭がしっかりとやってもらっていますが、幼保・小との連携を東小学校が中心に平木主幹教諭と一緒にやって来ています。また、小中の連携については、斎藤主幹と木村教頭が間に入ってやって来ていますので、そういったものを羽島郡では大事にしていきながら、当事者のキーになる先生プラス、関わる先生、支援の先生方も一緒になっていけるようにしたいと考えております。16頁については、学校別の数値となっておりますので、また、ご覧いただけたらいいと思います。できるだけ子供たちと先生たちの熱量が合ってくるといい学校になってくると思いますの、そこはしっかり指導したいと思っております。</p>
<p>教育長</p>	<p>今の説明で何かご質問等ありますでしょうか。あれば後ほどお願いします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>議案第32号 令和6年度使用小・中学校使用教科用図書<sup>の</sup>岐阜地区採択について</p> <p>教科書の採択の完了についてです。18頁、19頁にありますように教科書の採択を行ったものが岐阜地区採択協議会の方でも認められました。いつでも見られるように、もう解禁の状態になっております。今はこの教科書を使いながらどうことができるかということ、林先生がいらっしゃるので、すべての二次元バーコードを確認してどんなことができるかということを確認していただいております。主事が驚いたことは、小学校3年生の教科書で古い教科書と新しい教科書を初任者の方と一緒に比べて、どちらがわかりやすい並びになっているのか、どういう教え方がいいのか、新しい採択でそういった指導方法にも工夫を入れている先生も見えましたので、ぜひ、教科書1つをしっかりと読み込んで、きちっとやることでいいように使えることを伝えていきたいと思っておりますし、また、校長会を通じてその辺を指導していきたいと思っております。</p>
<p>教育長</p>	<p>教科書についてですが、質問等はございますか。よろしいでしょうか。</p>
<p>教育委員</p>	<p>はい</p>
<p>教育長</p>	<p>&lt;協議題について&gt;</p> <p>では、協議題の方に移ります。総務課長、説明をお願いします。</p> <p>(1) 令和6年度第53回羽島郡二町教育委員会被表彰者について</p>

総務課長	<p>20頁をご覧ください。羽島郡二町教育委員会の表彰というのは、表彰規則及び表彰規則取扱要領に基づきまして、羽島郡の教育学問及び文化の振興発展に貢献した方を表彰することを目的としております。表彰基準としまして、教育関係表彰職員表彰は第2条に、学校、団体その他の表彰は第3条に規定されております。今年度も両町の小中学校及び教育関係機関に照会をさせていただきました結果、6名の方の推薦がございました。6名すべてが学校教育関係の方で、第2条の第3号に掲げる20年以上の委員会事務局及び委員会の所管に属する学校又は教育機関に勤務して成績優秀な者に該当された方となります。岐南町の小学校から5名、笠松中学校から1名で、お名前、具体的な功績事項については記載のとおりとなります。6名の方の推薦についてご協議していただき、表彰者の決定をお願いいたします。</p>
教育長	<p>6名の候補者について、ご意見等はございますか。</p>
久納委員	<p>教育関係の団体の推薦は、今回はないのですか。</p>
総務課長	<p>今回はございません。全員が教諭となります。</p>
教育長	<p>他には、よろしいでしょうか。</p>
教育委員	<p>はい。</p>
教育長	<p>ご承認いただけましたので、また、委員の皆様には表彰式の出席をお願いいたします。次に、4つの協議題をまとめて、社会教育課長説明をお願いします。</p>
社会教育課長	<p>(2) キッズウィークの運用について</p> <p>21頁をご覧ください。今年度新たな取り組みとして、岐南町では社会教育主事が支援しながら図書館企画を新たに入れました。また、笠松町では数年前より岐阜工業高校とコラボ企画を行っていますが、それを岐南町でも何とかできないかということで、今年度より岐阜女子高校とコラボしています。岐阜女子高校では令和7年度より地域探究を学習に取り入れていく準備をしているところで、高校生の学びと合わせて地域の子供の体験という仕組みづくりを進めています。また、岐南町では小学生ドッジボール大会、笠松町ではミニかさ横丁のように地域主導のイベントも継続して続けられています。9日に岐南町の公民館講座として</p>

「昔遊び体験教室」がありますが、先ほど教育長が少し触れたように公民館講座になかなか行けない放課後児童クラブの子どもたちにも出前講座を届けられないかと考え、岐南町の社会教育委員の代表で、元校長の赤塚先生を中心に人を集めていただいています。7日と8日に児童クラブの方に出前講座として、昔遊び体験教室が出張できるように進めているところです。福祉部局や事業所とも相談しながら、まずはできるところから行って、また、次年度につなげていけたらと思っています。

### (3) 水難事故防止に関わる新規事業について

22頁からご覧ください。22頁からは児童のアンケート結果となり、そして、25頁からが教職員のアンケート結果となります。実際、私も各小学校を回って教室を見ましたが、コロナの影響もあったと思うのですが、驚くほど泳げない児童が多いです。これは、羽島郡だけではなく全国的なことで、スイミングスクールに通っている児童とそうでない児童での体験格差がとても大きいという記事を目にしました。そういった点で今回この事業をやったことが、泳げない児童を泳げるようにするというので、かなり救われた児童が多いということを実感していますし、実際、実施してよかったと思います。今年度の成果を提示して、来年度に向けて予算を取るために、継続を強く要望しているところです。29頁は前にも紹介しましたが、岐阜新聞に取り扱っていただきました。また、30頁のようにネットニュースで中京テレビでも取り扱っていただいております。やはり教員は安全面重視を優先するため一対一の指導は、なかなか難しいです。そうした意味では専門のコーチに入ってもらったことは、とてもよかったなと思います。それから、32頁ではもう1つの事業、消防職員を派遣してライフジャケット着用体験及び水難事故防止教室を郡内すべての小学校、そして岐南中学校で実施いたしました。今回の方法では、社会教育課に大きな労力がかかるため、来年度以降も継続していくためには、やり方を考えないといけない面はありますが、とても有意義な事業だったので継続していけるとよいと考えております。

### (4) 羽島郡人権教育研修会について

36頁からをご覧ください。アンケート結果を掲載しております。前回の定例会議でご意見いただいたように来年度は教員以外にも早い段階で広く周知し、そして、多くの方に一緒に同じ場で学んでいただきたいと思っています。

### (5) 郡地域学校協働活動研修会について

	<p>羽田野委員さんにも参加していただきましたが、39頁からが当日の資料となります。講師の伊藤大貴さんには、10月9日の立志塾でも講演をお願いしています。伊藤さんは防衛大学校卒業後、海上自衛隊の幹部となり、教育隊の教官を務めたことがきっかけで教育に目覚めたそうで、その後、自衛隊を退官して、今、中高生を中心に探究学習を支援する活動を行っている方です。51頁からは参加者の感想です。参加者の方から「元気をいただき、ありがとうございました。」とありますが、予算がない、人員がいないというところで、高齢の方が子供たちと触れ合う中で、元気になる、生きがいになる、そうした仕組みづくりを大事にしていきたいと思います。</p>
教育長	<p>では、(2)から(5)まで、まとめて説明をさせていただきました。ご質問、ご意見等ございますか。よろしいでしょうか。</p>
教育委員	<p>はい。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。次は、県外視察研修ついて説明をお願いします。</p>
総務課長	<p>(6) 県外視察研修について</p> <p>55頁をご覧ください。日には10月2日(水)の日帰りで大阪市のインテックス大阪で開催されます「EDIX関西2024展示会」に参加いたします。岐阜羽島駅を7時4分発の新幹線で大阪に向かいます。6時40分までに集合してください。会場には9時前に到着する予定です。会場内では、次の56頁にありますが、以前皆様にお聞きしました講演会に申し込みがしてありますから、参加していただき、昼食は各自でお取りください。そして、夕食は17時30分からお店を予約してありますので、その時間までにお集まりください。食事の時間として2時間を考えており、帰りは新大阪駅を19時51分発の新幹線で岐阜羽島駅には21時前に着く予定です。行きの新幹線は指定席を取ってありますが、帰りは新幹線の乗車券のみで指定席は取っていませんので、よろしかったでしょうか。</p> <p>【教育委員で話し合い】</p>
教育長	<p>では、次回と次々回の定例会議について、説明をお願いします。</p>

<p>総務課長</p>	<p>(7) 次回 第8回 教育委員定例会 と (8) 第1回羽島郡二町教育委員会運営協議について</p> <p>前回の定例会で確認させていただきましたが、10月22日(火)10時から、岐南町役場・会議室2-2で定例会を行い、その日の午後1時30分から岐南町中央公民館の講義室で運営協議会を行います。本日、案内通知をお配りさせていただきましたのでご確認ください。そして、午前と午後とお昼をまたいで会議がありますので、お弁当を準備させていただきます。当日、お弁当代をご用意くださいますようお願い申し上げます。</p>
<p>総務課長</p>	<p>(9) 次々回 第9回 教育委員会定例会および教育委員会表彰式の日程について</p> <p>57頁をご覧ください。例年、第9回定例会は11月に、先ほど協議していただきました6名の方の表彰式と同日で開催しております。幹事町の岐南町長に挨拶をお願いする為、スケジュールを確認したところ候補日といたしまして、11月18日(月)、26(火)、29(金)の3日間を押さえてあったのですが、先日、11月29日(金)については、町長が別の会議が入り、代理として副町長となると連絡が入りました。時間は午後で、場所は岐南町中央公民館を予定しております。委員の皆さんのご都合はいかがでしょうか。</p>
<p>教育長</p>	<p><b>【教育委員で話し合い】</b></p> <p>では、11月の定例会議は、11月26日(火)の午後からとさせていただきます。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>10月9日(水)13時30分から岐南町中央公民館・講堂で立志塾が開催されますので、ご参加のほどよろしくお願いいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>他には、何かありますか。よろしいでしょうか。</p> <p>では、これで第7回定例会議を閉じさせていただきます。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p> <p>&lt;閉会&gt;</p> <p>(午前12時00分)</p>